

平成11年度神戸大学技術官研修日程表

平成11年9月1日(水)～平成12年2月 日() テーマ「環境計測」

	9:00	9:30	10:00	10:15	11:00	11:15	12:15	13:15	14:15	14:30	15:30	15:45	16:50	17:00	
第9月11日(水)			受付	開委員 議長 式抄	講話 片岡副学長	休憩	環境に関わる 振動・音響の 計測と評価 工学部機械工学科 助教授 河村庄造	昼食	生物多様性を 考える 農学部附属農場 教授 河野和男	休憩	隕石から宇宙 を眺める 理学部地球惑星 科学科 教授 中村 昇	休憩	技術官報告 農学部附属農場 理学部 医学部 工学部	事務連絡	懇親会

※実施場所：大学院自然科学研究科2階大会議室 / LansBox 2階

(理工医系) 平成11年9月2日(木)、3日(金)

第9月22日(木)	①	「酸素・アセチレンガス溶接法により容器の制作」 工作技術センター 高濱邦高 技術官 ※1.5日コース	昼食	見学会 キリンビール神戸工場 神戸市北区赤松台2丁目1-1 「ISO14001認証 環境保全の取り組み」				
	②	「建設工事の問題点及び自然と人間に優しい河川」 都市安全研究センター 市成 幸一 技術官						
	③	「ガラス実験器具の製作技術」 工学部応用化学科 野村 憲司 技術官						
	④	「大型加振機を使った構造物の防振」 工学部機械工学科 福井 喜一郎 技術官						
第9月33日(金)	①	「酸素・アセチレンガス溶接法により容器の制作」 工作技術センター 高濱邦高 技術官 ※前日の続き	昼食		同	左	ま と め	閉 講 式
	⑤	「標準物質Antipyrine, Acetanilideなどの微量分析」 理学部化学科 西中満寿子 技術官			同	左		
	⑥	「半導体の結晶研磨(その2)」 工学部電気電子工学科 北山良和 技術官	同		左			
	⑦	「Java言語入門」工学部情報知能工学科 村尾 元 助手, 藤井勝宏 技術官	食		同	左		

※①～⑦：コース番号， 実施場所：別途指示する / まとめ、閉講式：工学部大会議室

(農学系) 平成12年2月 日(), 日() (未定)

(未 定)

平成11年度 神戸大学技術官研修(理工医系) 各コース概要

コース番号【コース名】 集合場所/実施場所 (予定定員)	内 容 概 要
①【酸素・アセチレンガス溶接法により容器の製作】 工学部工作技術センター実習工場/同左 ※1.5日コース (8名)	金属接合法の内、溶接法に分類されるガス燃焼エネルギーを利用した酸素・アセチレンガス溶接法を習得し、できるだけ正確な寸法の容器を製作する。これによりガスの取り扱いに慣れ、危険の少ない安全な取り扱いを身につける。 【工学部工作技術センター 高濱 邦高 技術官(内6370)】
②【建設工事の問題点および自然と人間に優しい河川】 工学部視聴覚教室LR104/同左 (28名)	日本の80%は山岳地で占められており、山岳地は造山活動等で構成され、それに伴う平野部もまた山岳地固有の条件を持って構成されている。宅造、トンネル、発電所等の各種工事を行う際、これら工事場所の持つ特性を考慮しながら安全に、かつ速やかに行わねばならない。今回は、日本の地形の特性とそれに伴う各種工事のありかたと問題点をお話しいたします。また、現在話題の親水河川(自然に親しむ)の話題についてご紹介をいたします。 【都市安全研究センター 市成 準一 技術官(内6064)】
③【ガラス実験器具の製作技術】 工学部応用化学科1階 x105実験室/同左 (8名)	前回も研修にてガラス細工を行ったが、一朝一夕には習得できません。後は数をこなすしかありません。スポット作りを通して足場作り・球を吹く・切る・端面仕上げ・キャピラリー作りの技術を習得し、そしてガラスが液体であることを認識してもらいたい。 【工学部応用化学科 野村 憲司 技術官(内6179)】
④【大型加振機を使った構造物の防振】 工学部機械棟P103実験室/同左 (6名)	サイン波加振で加振力 1,000kgf の能力のある大型加振機を使って、まずモデルを加振して振動させて貰います。操作は、Windows 上で作動するデジタル振動制御装置でパソコンで容易に行うことができます。次にモデルの防振装置を設計していただいて取り付け後の効果を確認していただきます。 【工学部機械工学科 福井 喜一郎 技術官(内6120)】
⑤【標準物質Antipyrine, Acetanilideなどの微量分析】 理学部B棟B307/機器分析室 (5名)	有機微量元素分析装置「ヤナコ CHN CORDER MT-5型」のベースシグナルが安定する間、トラウミクロ電子天秤のばらつき測定を行います。ベースが安定したら標準物質Antipyrineを5〜6回、続けてAcetanilideやSucroseを分析します。シグナルカウントをパソコンに打ち込んで、FactorとそのFactorを使ってCHNの重量パーセントを計算します。 【理学部化学科 西中 満寿子 技術官(内線5697)】
⑥【半導体の結晶研磨(その2)】 工学部電気電子工学棟3階ゼミ室D308 /電気電子工学棟E204, E205 (9名)	固体の光物性の研究にはダイヤモンドアンビル高圧セルがよく使用される。その技術は小さな穴(0.5mm径)を開けた金属薄板(0.2mm厚)を2個のダイヤモンドのキュレット面で挟むことからなる。高圧セルの構造を見ながら試料を研磨、整形加工する仮定を紹介し、室温(77K)でゼロ圧の光学特性を観察します。 【工学部電気電子工学科 北山 良和 技術官(内5217)】
⑦【Java言語入門】 工学部旧システム工学棟S201/同左 (28名)	インターネットの普及とともにJava言語が注目を浴びています。Java言語は、Sun Microsystems社が開発したオブジェクト指向言語で、C/C++言語と似たような概念、キーワード、構文を持つ言語です。今回の研修では簡単なプログラミング実習も行ないながら、この言語を解説します。 【工学部情報知能工学科 村尾 元 助平(内6253)、藤井 勝宏 技術官(内6223)】